

目次

はじめに

刊行に寄せて

I 令和元年度・2年度発掘調査概要

1 遺跡周辺の地理と歴史	1
2 調査研究事業の目的と経過	2
3 青谷平野部の調査	7
4 青谷東側丘陵部の調査	9
5 まとめと課題	21

II 特別講演会『青谷の古代山陰道が語るもの』記録集

特別講演 日本古代の交通と地方社会…………… 市 大樹(大阪大学大学院教授)24

特別講演会Q&Aコーナー…………… 62

【付録】古代山陰道復元イラスト解説…………… 64

例言

1. 本書は、鳥取県埋蔵文化財センターが古代山陰道調査研究事業で行った令和元年度・2年度の発掘調査概要報告及び令和2年11月14日に開催した特別講演会「青谷の古代山陰道が語るもの」の記録集です。
2. IIの「特別講演 日本古代の交通と地方社会」は令和2年11月14日に行った講演内容を市大樹氏に再構成していただきました。記して深謝いたします。
3. 本書のうち、II特別講演以外の執筆及び編集は、坂本嘉和が行いました。
4. 調査研究体制は以下のとおりです。

事業主体 鳥取県埋蔵文化財センター

所長 北村 順一

次長 舟木 真佐人

課長補佐 中山 寧人

係長 東方 仁史

文化財主事 大川 泰広、坂本 嘉和

調査指導 近江 俊秀(文化庁文化財第二課主任文化財調査官)

【因幡国古代山陰道発掘調査委員会】(令和2年度～)

委員長 久保 穰二郎(元鳥取県埋蔵文化財センター所長)

委員 市 大樹(大阪大学大学院教授)

委員 大橋 泰夫(鳥根大学法文学部教授)

委員 神野 恵(奈良文化財研究所都城発掘調査部考古第二研究室長)

5. 調査研究事業を進めるにあたり、鳥取市教育委員会、鳥取市青谷町総合支所などの各関係機関・団体や、土地所有者などの方々から御協力いただきました。
6. 表紙のつづら折りの古代山陰道復元イラスト及び「【付録】古代山陰道復元イラスト解説」に掲載したイラストは、山本正治氏に作成いただきました。